

立ち読み版



弁護士ドットコム株式会社代表取締役会長（※取材当時）
 弁護士 参議院議員

もとえ たいちろう

元榮 太一郎さん

1975年米国イリノイ州生まれ。慶応義塾大学法学部卒業後、司法試験に合格。アンダーソン・毛利法律事務所にてM&Aほか最先端の企業法務に携わる。勤務3年後に独立し、オーセンシブル株式会社（現弁護士ドットコム）を創業、日本最大級の法律相談ポータルサイト「弁護士ドットコム」の運営を行う。2014年に弁護士として初の東証マザーズへの上場を果たす。2016年、参議院議員選挙に当選する。著書に『弁護士ドットコム 困っている人を救う僕たちの挑戦』（日経BP）、『複業』で成功する』（新潮新書）など。

【写真】安岡 嘉

弁護士×起業家×国会議員の複業で 価値を創造する社会イノベーター

【取材・文】原 正紀

株式会社クオリティ・オブ・ライフ代表取締役・高知大学客員教授・成城大学非常勤講師。中小企業診断士。早稲田大学法学部卒業後、大手メーカー、株式会社リクルートでの勤務を経て、独立。産学公個に対し、採用・育成・人事制度構築など、人材関係の幅広い提案を行う。著書に『採用水戸期』（日本経済新聞出版社）、『優れた企業は日本流』（扶桑社）、『インタビューの教科書』（同友館）など多数。

HARA'S
BEFORE

元榮さんは弁護士の傍ら、「弁護士ドットコム」という新たなビジネスを創り上げ、東証マザーズ上場に導いた起業家でもあり、「クラウドサイン」などの新たなビジネスを立ち上げ続け、さらには参議院議員として国政にも携わっている。そのパワーの源泉に迫った（本インタビューは2020年9月14日に実施した）。



Umanol | Taichiro Motoe

弁護士ドットコムを起業

原：弁護士・政治家を務める傍ら、経営者としても多角的に事業を展開されていますね。

元榮：「専門家をもっと身近に」という理念で弁護士ドットコム株式会社を2005年に創業して、今期で16期目になります。「弁護士ドットコム」というサイトは登録弁護士が2万人と、弁護士の2.5人に1人が登録しています。姉妹サイトの「税理士ドットコム」も、国内NO.1の税務相談ポータルサイトに育ちつつあります。

それらとは別に「クラウドサイン」という電子契約サービスも2015年に立ち上げました。導入実績は10万社を超え、毎月約20万件の契約

が締結されるほど急成長しています。特にコロナ禍で、決済のハンコを押すために出社するのも厳しいという中で、クラウドサインの有用性を改めて認識していただいているようです。さらに「ビジネスロイヤーズ」という企業法務ポータルサイトも伸びていますし、「弁護士ドットコムキャリア」という人材紹介事業もあります。弁護士だけでなく、専門系や管理系にも事業領域を広げようと進めています。

原：見事にビジネスモデルを創り、それを広げていますね。創業する際は、それまでの2,000万円以上の年収をかなり捨てて挑戦されたとか。

元榮：動いていたアンダーソン・毛利法律事務所では世間の注目を浴びるような大企業の法務案件など、やりがいのある案件に巡り会っていましたし、先輩や同僚も優秀で素晴らしい方々と仕事をしていたので、起業はまったく考えていませんでした。

それが2003年の秋頃、上場ネットベンチャー企業がネット証券を買収する案件のM&Aチームの一員になり、ネットの無限大の可能性を肌で感じ、非常にワクワクしたんです。当時はブロードバンドが本格普及して高速大容量通信が実現する、社会の隅々にネットが溶け込んでデジタル社会になると思われました。自分もプレイヤーとして頑張りたいと思ったのと、数年前に設立された会社の上場し、いろいろな企業を買収して急成長していく姿を見て、弁護士以外の人生にもチャレンジしたいと考えたんです。